



カケハシ・プロジェクト（カナダ）若手リーダー招へいの記録

1. プログラム概要

【目的】本プログラムでは、様々な視察を通してカナダの若手社会人の参加者が、両国の多文化共生社会の現状について、またビジネス連携の可能性について企業や視察先、行政職員の方などと意見交換し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等について知見を広げるとともに、日本の関係各所との交流を行い、日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。

【参加者】ファースト・ネーション、ユダヤ系及びアジア系にルーツを持つ大学生及び若手社会人計 10 名

【訪問地】東京都、神奈川県、北海道

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

11 月 13 日（月曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

11 月 16 日（木曜日） 羽田空港より入国
11 月 17 日（金曜日） 【視察】江戸東京たてもの園
【視察】国会議事堂
11 月 18 日（土曜日） 【視察】東京スカイツリー®
東京都から北海道へ移動
11 月 19 日（日曜日） 【視察・意見交換・交流】ウポポイ（民族共生象徴空間）
アイヌにルーツを持つ職員との意見交換・交流
11 月 20 日（月曜日） 【表敬訪問】北海道庁 総合政策部長 三橋 剛 氏
【文化体験】生け花
【学校訪問】市立札幌大通高等学校
北海道から東京都へ移動
11 月 21 日（火曜日） 【意見交換】東京都庁生活文化スポーツ局職員
「東京都の多文化共生の現状・展望について」
【視察】渋谷、明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
11 月 22 日（水曜日） 【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 穂坂 泰 氏
東京都から神奈川県へ移動

【企業訪問】株式会社 An-Nahal（ダイバーシティ・インクルーシブ実現のためのコンサルタント企業）

神奈川県から東京都へ移動

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

11月23日（木曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



11月17日【視察】江戸東京たてもの園



11月17日【視察】国会議事堂



11月19日【視察・意見交換】ウポポイ



11月20日【表敬訪問】北海道庁 総合政策部長
三橋 剛 氏



11月20日【文化体験】生け花



11月21日【意見交換】東京都生活文化スポーツ局

	
11月22日【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 穂坂 泰 氏	11月22日【企業訪問】株式会社 An-Nahal
	
11月23日【報告会】成果報告	11月23日【報告会】記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

ウポポイを訪れ、アイヌ文化について学ぶ経験は、非常に素晴らしいものでした。アイヌの方々と実際に膝を突き合わせ、1対1で話をする機会は、忘れられない貴重な体験であり、深い感動を覚えました。今後のカケハシ・プロジェクトの参加者にも同じような体験をして欲しいと心から願っています。

◆ 社会人

東京都職員との意見交換では、多様性と多文化を内包していくための政策をどう改善していけば良いかについてアイデアを共有する機会を得ることができました。この機会を通して、知識を共有し、具体的な成果を生み出すことができることに大きな価値を感じています。

◆ 社会人

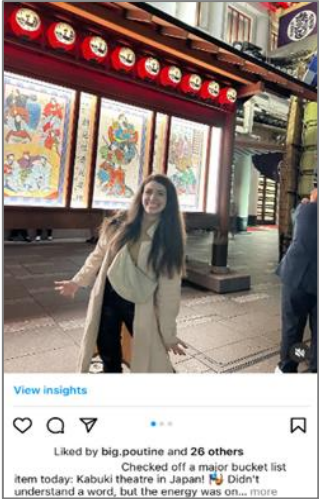
カケハシ・プロジェクトへの参加を通じて、私は多様な立場と背景を持つ日本人と出会う機会を得たことで、日本の文化や社会の微妙なニュアンスを、新たな視点から深く理解し、その価値を認識することができました。プログラムに携わるスタッフの方々は、私たちの経験を深く理解し、感謝することを教えてくださいました。彼らは私たちの素晴らしい経験を支える基盤でした。心から感謝いたします。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

コロナ禍で全く活動がなかった中、当団体のボランティア（生け花講師）の方にとっては久しぶりの活動となりました。ボランティアの方には準備段階から協力いただき、当日だけではなくその過程も楽しんでいただけたのは大変良かったと思います。当日は参加者の方にも楽しんで頂けた様子が見え、双方にとって満足のいくプログラムになったと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2023 年 11 月 17 日（Instagram） 日本でしたいことリストの一つ、（自由時間に）歌舞伎座に行ってきました！言葉は何一つ分からなかったけれど、舞台上でのエネルギーが私を包み込みました。	2023 年 11 月 19 日（Instagram） 私たちのグループは北海道のウポポイ（民族共生象徴空間）を訪れ、素晴らしい体験をしました。アイヌは日本の先住民で、「アイヌ」とは彼らの言語で「人間」を意味します。訪問の最も感動的な部分は、アイヌの人々と言語の復活や次世代への文化の継承などについて話し合った 1 時間でした。忘れられない経験になりました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

訪問地：東京都、北海道、神奈川県

Vancouver Kakehashi Project Action Plan (Team A - Ashley, Franco, Rachel, Casey, Sabryna) Event Title Building Bridges - Young Leaders Event Event Description A cross-cultural event for student leaders to cultivate Japanese-Canadian relations through engaged dialogue and ikebana arrangements. The event will furthermore promote the Kakehashi program. Event Details • Date: Tentatively January 30th, 2024 • Time: 1:00pm - 4:00pm • Location: 6688 Southoaks Crescent, Burnaby BC V5E 4M7 Partnering Organizations Daruma Convenience Store, Japan-Canada Chamber of Commerce, Japanese Consulate,		
【訪日中の学び】 プログラムを支えるスタッフが体現する日本人像を通して、謙虚で非常に親切な日本人に接し、		

これまでの日本人へのイメージや理解よりも、さらに好ましい印象に変わりました。

【多文化共生についての学び】

北海道の先住民であるアイヌ民族の方との交流を通し、カナダの先住民族が多文化共生の中でアイデンティティを維持する努力や取組みと多くの類似点があることを学びました。

【アクション・プラン】

カナダの広い国土の異なる都市から参加しているため、一部を除き、アクション・プランは個人ベースで実施します。

■ グループ A

- 生け花を中心とした日本文化を紹介するイベントを領事館と協力し、2024 年 1 月 30 日にバンクーバーで実施します。
- 同じ民族に属する地域の若者に対し、帰国後 11 月中に日本の先住民族について、コミュニティメディアを利用してその学びを共有し、教えます。
- 居住区のコミュニティで幼児教育に携わる中で、今回の訪日プログラムでの洞察の数々を子ども達に伝えます。
- 経験豊富な広報担当官として、訪日団がカケハシ・プロジェクトの経験をメディアや座談会等を通して多くの聴衆と共有できるようファシリテートし、自分自身も機会を得て話をします。

■ グループ B

- ジャーナリストでもある自分の特技を活かし、LinkedIn（SNS）に、特にアイヌに焦点を当てた 300～500 ワードの記事を今後 3 ヶ月間シリーズで掲載します。
- 今回の訪日経験を活かし、2024 年 1 月を目処に自身が経営する飲食店で日本風のインテリアやメニューを取り入れ、顧客にアピールします。
- コネクションを活かし、道庁と地熱エネルギー開発担当者、海外での勤務を望む看護師を繋ぎます。また、日本への観光振興のための動画を SNS 等に帰国後 1 週間内に投稿します。
- 他の文化団体と協力し、カルガリーでアジアン・フェスティバルを開いて日本を紹介し、日本文化との交流や理解を図ります。（2024 年 8 月予定）
- オンタリオの法学部の学生に対し、自身の座談会等で日本での経験を共有し、短期留学先として日本を勧めます。またその際、株式会社 An-Nahal を日本の連絡先として紹介します。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）